令和８年度夏休み　訪問看護版インターンシップ　ニュースレター　Vol.12　2026 年 11 月発行

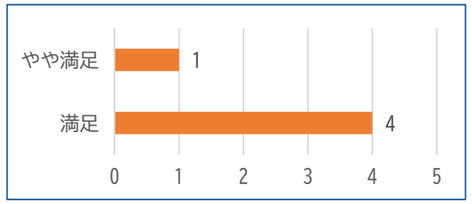
インターンで学び、なりたい自分へつなげていく

今年度は、６人の学生が５施設でインターンシップに参加しました。

参加者アンケートのご報告

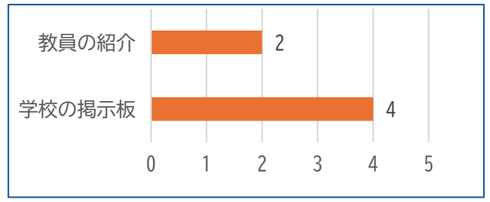
実施期間：R8 年 7 月 21 日～9 月 18 日
参加者：6 人/5 施設
回答者：5 名　　回答率：83%

●実習の満足度



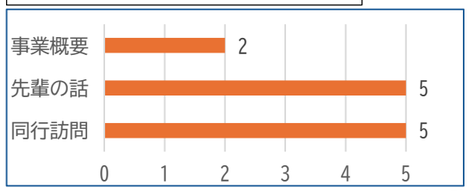
（n=5）

●参加のきっかけ（複数回答）



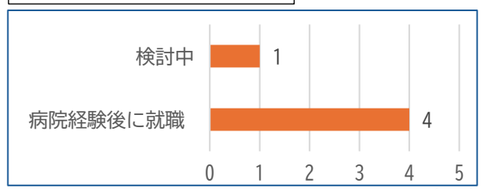
（n=5）

●興味のあったこと（複数回答）



（n=5）

●訪問看護への就職希望



（n=5）

参加学生の感想



訪問看護師さんの訪問を、利用者さんもご家族も心待ちにされていることが印象的でした。利用者さんの反応もとても良かったです。

病棟とは異なり、生活の場に伺うことで見えてくるその人らしさや、わずかな変化にも気づけることが魅力的だと思いました。

一人で訪問する責任はありますが、その分やりがいも感じられることを知りました。これからたくさん経験を積んで、訪問看護師になりたいと思いました。

受け入れ施設の感想



学生さんが来られると、改めて背筋を伸ばして勤務に就きます。

学生さんの新鮮な反応に、職員もよい刺激をもらえます。

訪問看護の魅力を伝え、興味をもってもらうよい機会になります。

学生さんと話すことで、職員も仕事を振り返る機会になります。

インターンシップの一日に密着





8:30　朝礼・ミーティング



9:00　事業の説明



9:30　訪問看護の見学





12:00　昼休憩



13:00　ミーティング



13:30　訪問看護の見学



14:30　訪問看護師さんとお話し

訪問看護を始めたきっかけや、仕事への思いについてのお話も聞きました。

密着した学生Ｆさん（19 歳）のお話し



訪問看護の現場を実際に見させていただいて、ご家族や他職種と密に関わりながら、利用者さんの人生を考え看護を行う訪問看護の魅力を、肌で感じることができました。
また、一人で訪問するからこその責任感や、わずかな変化に気づく観察力の重要性を実感しました。
多くの学びを得られる貴重な体験なので、検討されている方にぜひおすすめしたいです！

訪問看護現の魅力を、現場で感じてみませんか？

学校の授業だけでは学べないことを、実際に見て、聞いて、感じられる貴重な機会です。早い段階で体験することで、将来したいことを考える時間や選択肢が広がります。
訪問看護に興味のある方は、ぜひ参加してみてください。いろんな世界を体験してみましょう！！



（公社）広島県看護協会